

	項目	目標値	単位	実績値 (R3年度)	単位	達成率	説明
基本目標	1. 基本目標						
	【指標】生産年齢人口の確保	620	人	663	人	102%	村の移住定住支援事業により、生産年齢人口にあたる移住者が増加したものと考えられます。
	【指標】18歳未満の人口比率	13.9	%	14.1	%	101%	村の子育て支援施策の拡充と教育体制が充実してきたことにより、「赤井川村で子どもを産みたい」という希望をかなえたい環境が整っていることが数字として表れたと考えられます。
	【指標】社会増減数 *外国人住民除く	10	人	△25	人	△250%	コロナ禍によるリゾート施設従業員の転出者数が、新規就農者などの転入者数を大きく上回ったことがマイナスの達成率となった大きな要因だと考えられます。
【指標】人口1人当たりの地方税納付額	238,000	円	246,353	円	104%	令和元年度に新築で建設された非木造建築物の固定資産税、及び太陽光発電設備の償却資産税の納付によるものです。	
施策区分	2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成						
	【指標】地域おこし協力隊員の定着率	40	%	44.4	%	111%	地域おこし協力隊制度導入後、村では9人の隊員が任期を終えています。この内4人の方が、任期終了後において赤井川村へ定着しています。 (定着の基準は、隊員終了後に村内に居住しているか否かを判断基準としています)
	【指標】移住定住支援事業による住宅建築戸数	7	戸	2	戸	29%	移住定住支援事業を活用し、令和3年度においては2戸の個人住宅が整備されています。
	3. 産業の振興						
	【指標】新規就農者数	10	人	1	人	10%	新規就農支援制度により、令和3年度においては1人の新規就農者が定着し、営農を開始しています。また、令和3年度には5人の新規就農研修生が就農に向けた研修活動に取り組んでいます。
	【指標】観光客数	1,158	千人	576	千人	50%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国内外の移動が長期間にわたり制限されたことにより、来村する観光客数が大幅に落ち込みました。
	4. 地域における情報化						
	【指標】超高速ブロードバンド世帯カバー率	100	%	100	%	100%	国の補助制度を活用し、通信事業者に支援を行うことで、地域課題であった村内全域での超高速ブロードバンド環境が令和3年度末に整備されました。
	5. 交通施設の整備、交通手段の確保						
	【指標】公共交通運行エリア拡大率 (路線延長増加割合)	120	%	118.5	%	99%	北海道中央バス赤井川線の路線廃止に伴い、地域でデザインする新たな地域公共交通体制を構築し、常盤～キロロ間、余市駅～コープさっぽろ余市店前までの区間の路線拡大を行い、市町村運営自家用有償運送（交通空白地）の登録申請を行い、令和4年4月からのむらバス運行に繋がりました。
	【指標】橋梁における長寿命化計画の進捗率	24	%	9	%	38%	橋梁長寿命化計画に基づき、点検・補修設計・補修工事を実施し、平成25年度策定・令和3年度に更新した本計画の9/24橋の補修を終えました。
	6. 生活環境の整備						
	【指標】救命救急士の運用	100	%	0	%	0%	企業版ふるさと納税により高規格救急車が配備され、救命救急士運用の環境が整備され、次年度運用に向け準備を進めています。
	7. 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進						
	【指標】保育所待機児童数	0	人	0	人	0%	村の保育所受入れは満2歳からであるが、城内及び広域での保育施設の利用により充足されているため、待機児童数は0人となっています。
	【指標】要介護・要介護認定高齢者の割合	21	%	21	%	100%	運動教室や体操教室を実施し、高齢者の健康維持・増進を図っている。また、社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携し、高齢者の見守り活動を行い支援につながりやすい体制を構築しています。
	8. 医療の確保						
	【指標】救命救急士の運用	100	%	0	%	0%	企業版ふるさと納税により高規格救急車が配備され、救命救急士運用の環境が整備され、次年度運用に向け準備を進めています。
	9. 教育の振興						
	【指標】コミュニティスクール導入学校数	3	校	3	校	100%	令和3年度よりコミュニティ・スクールの本格運用を行い、学校・地域住民・保護者が信頼関係を深め、より良い学校運営や児童・生徒の健全な育成を目的に活動しています。
10. 集落の整備							
【指標】新規就農者数	10	人	1	人	10%	新規就農支援制度により、令和3年度においては1人の新規就農者が定着し、営農されています。	
【指標】空き家活用数	1	戸	0	戸	0%	村内の空き家状況を把握するとともに、広域的な空き家バンクの周知を図ります。	
11. 地域文化の振興							
【指標】カルデラ太鼓保存会会員数	50	人	48	人	96%	村の伝統芸能として、学校行事のほかイベントにおいて演奏する機会があり、カルデラ太鼓と触れ合う機会もあるため、会員数の大幅な増減はなく、ほぼ目標値に近い数字となっています。	
【指標】郷土資料館来館者数	50	人	39	人	78%	来館者は、村内学校の児童・生徒がほとんどであるが、新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあり、来館者数が伸びていません。	
12. 再生可能エネルギーの利用の促進							
【指標】再生可能エネルギー導入公共施設数	2	施設	0	施設	0%	国の補助事業を活用し、カルデラ温泉熱利用可能性調査を実施した結果、温泉熱利用が可能と判断されたため、カルデラ温泉及び隣接する体育館での熱利用に関して継続して調査を実施しています。	
13. その他地域の持続的発展に関し必要な事項							
【指標】カルデラの森整備事業	1	ha	1.12	ha	112%	全国的にも珍しいカルデラ盆地の景観は重要な地域資源であり、村、北海道森林管理局、地域住民が連携して、景観形成活動に取り組みました。（令和3年度参加者数0人であり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、住民などに周知をした整備活動は行っていません。）	